

人・街・ながた 震災資料室ニュース

2009. 4. 17

発行人 寿 広文

編集人 武川泰恵・藤原美紀

震災当時の写真、芝本禎夫さん (川西通4・自治会長) 提供

「子どもたちへのメッセージ展」が終了した3月下旬に川西通の芝本禎夫さんが資料室にこられ、「松本雅春さんから震災時の資料があればながたの資料室に提供して欲しい。」と話がありパネル、ネガなどを持参された。

芝本さんは震災復興事業で松本さん(都市計画総局新長田駅北地区)と出会い、街づくり協議会を通じて今日まで活動されている。「最初、ともに苦労をした松ちゃんの頼みだから」といわれた。松本さんは以前長田区役所に勤務し都市計画など業務をへて昨年に退職された。

ながたには以前から、西代、室内、尻池など規模は大きくないが地域の台所としての商店街、市場が多く点在していた。そのひとつで川西通には商店が軒を連ね、池田市場があり、地域の生活を支えていた。

当時芝本さんは御船通に住まれており御両親が川西通で化粧品店を営まれていた。地震と同時に店に駆けつけ救援活動をされたのちカメラで周辺の様子を記録された。

震災時を思い起こし「震災の記憶を残して伝えるつもりだったが、やはり当時のことと、皆さんの気持ちを考えるとしばらくは出せなかった。松ちゃんから伝えていこうと話があり街づくり協議会など地域での行事に展示するようになった。」とそして少しでも役立つなら写真の説明をされた。

現在、芝本さんは勤めておられた会社を定年退職され、川西通4丁目自治会の会長もつとめておられる。池田市場もなくなり区画整理で以前とは違う街並となったが地域の交流と活動に尽力をつくされて

いる。人と人の出会いの大切さを感じた。

資料室にも川西通と池田市場の様相を残した記録はなく今回の資料は大変貴重なものであり整理したのちに資料室展などで展示していきます。ありがとうございました。

識字教室「ひまわりの会」

4月25日(土) 風雨のきつい中、長田区公民館の工芸室は和やかな空気に包まれていた。

識字教室「ひまわりの会」の総会が始まった。小太い声の猶原事務局長の「はじめましょう」の呼びかけで世話人の中澤さんの初めのことばに続いて、桂光子代表のあいさつがあった。

『活動報告』には阪神淡路大震災は、文字の読み書きが不充分であることがどんなに悲惨なことかをあらさまにした。がれきの中に立てられた掲示板の文字も、次々に配られるお知らせも「読めなかった」。ライフラインが一応落ち着いた後、残ったのは「文字を覚えなくては」という強烈な思い、それが識字教室「ひまわりの会」の誕生を後押しした、と記されている。

最近は大学生のボランティアも増えて賑やかな教室であるが、何よりも学習者の皆さんの熱意が「ひまわりの会」のエネルギーである。今年で満13歳になる。



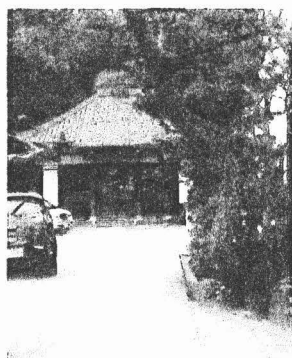
こだわりの地名、池田各町

4回の国勢調査を比較して 24

		1965 年	1975 年	1985 年	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	05 90
池田谷町	世帯数	508	1	—	—	—	—	—	—
	人口	1,689	2	—	—	—	—	—	—
上池田	世帯数	—	1,918	1,835	1,829	1,427	1,586	1,486	0.81
	人口	—	6,149	5,425	5,096	3,871	3,952	3,605	0.71
宮丘町 (宮町・丘町)	世帯数	449	528	449	439	338	314	306	0.70
	人口	1,704	1,666	1,177	1,129	857	748	694	0.61
池田各町	世帯数	1,362	781	741	734	530	616	659	0.90
	人口	5,418	2,495	2,275	2,138	1,508	1,651	1,607	0.75
合 計	世帯数	2,319	3,228	3,025	3,002	2,295	2,516	2,451	0.82
	人口	8,811	10,312	8,877	8,363	6,236	6,351	5,906	0.71
区合計	世帯数	57,186	58,790	53,730	52,948	37,918	45,871	46,808	0.88
	人口	214,345	185,974	148,590	136,884	96,807	105,464	103,771	0.76

※池田各町は池田塩町、池田惣町、池田新町、池田寺町、池田上町、池田広町、池田経町

池田各町は、長田神社の西に位置し高取山の麓にある。「池田村史」(中西政太郎さん編著)によると「明治までの池田村は北はロー里山、東は長田村・東尻池村、南は西尻池村、西は



西代村に囲まれた地域で摂津の国、八部郡中ノ庄に属していた」と記されている。

それぞれの池田各町は上記の通りであるが、いくつかの町の経緯を見てみよう。まず池田広町が大正9年に独立した。そして昭和4年に池田寺町、池田上町がそれぞれ一町をなした。寺町は妙楽寺があるところからの命名で上町は西国街道から見て上(北)にある。長田高校のグラウンドのある経

町は寺町の西隣で妙楽寺の読経が聞こえていた。

さて、表を見ると人口のピークは区全体より10年程遅れて迎えており、震災による減少も26%と区全体より少ない。ただ、丘陵地のため擁壁から傷んだ家屋が多かったため回復のスピードは遅く、そのまま空地となっているのが目に付く。人口の回復率が小さいのが宮丘町で5階建て30戸の市営住宅が取り壊されたのが響いている。なお宮丘町は49年の住居表示改正で宮町と丘町から一字ずつ採って生まれた。上池田は6丁目からなり広い範囲を抱えていて、震災後に増加に転じたが再び減少傾向に入っている。大手企業の社宅が無くなり戸建てになったためか。長田区では住宅地である。

全棟数 2,482 棟
り災率 70%